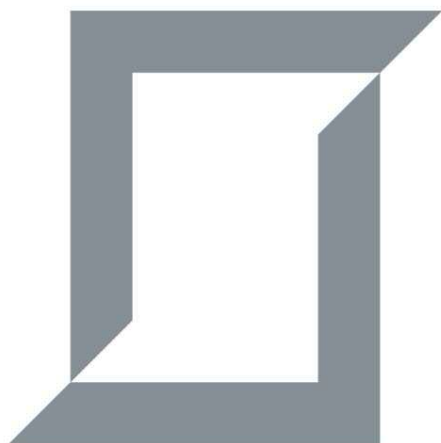


ステークホルダーの皆様へ



SPACE VALUE  
HOLDINGS



ポラリス・キャピタル・グループにおける  
当社株式の公開買付け（TOB）について

---

2021.11

## 本公開買付（TOB）に対する当社の意見表明について

- 当社は、ポラリス・キャピタル・グループ\*<sup>1</sup>による公開買付け(TOB)に**賛同の意見を表明**し、株主の皆様に対して公開買付けへの**応募を推奨**することに決定致しました。
- 公開買付けが成立した場合、当社は、その後に予定されている一連の手続きを経て、**非上場化の上、ポラリス・キャピタル・グループの完全子会社になる**予定です。

\*1 ポラリス・キャピタル・グループ及びポラリス・キャピタル・グループが助言・運用するファンドを含む。以降総称して「ポラリス」の略称を用いることがある

# ポリス・キャピタル・グループの概要

ポリス・キャピタル・グループ株式会社（代表取締役社長 木村雄治）は、2004年9月に設立された日系のプライベートエクイティファンド運営会社

- 過去の投資実績より高い信用力を誇り、国内外資金調達により累計額約3,500億円の投資ファンドを設立、17年間で投資実績累計38件
- 「日本の活性化」に資する「創業者精神の回帰」と「ビジネスモデルイノベーションの促進」を投資テーマとし、企業の成長を後押し
- デジタルトランスフォーメーションやグローバリゼーションをビジネスモデルの中に積極的に取り入れることで、新たな企業価値を創出

## ポリス基本理念

プライベートエクイティ業務におけるマーケットリーダーとして、真摯かつ公正な仲介者たる本分をわきまえ、顧客に対して最善かつ付加価値の高いサービスを提供することで、我が国の経済・社会に貢献しつつ、ポリスで働く個々人の幸福や生きがいを実現していく

戦略的パートナーである**ポラリス・キャピタル・グループ**は、当社グループと**協働**して、以下の施策を講じることで**企業価値向上を目指します**

- 当社グループの**ポテンシャル**

会計不祥事への対応に伴い業績面では足踏みを余儀なくされてきたが、当社グループの**強固な事業基盤**をベースとして、今後の高成長を見込むことができる**ポテンシャル**がある

- 再成長の実現を確かなものにする**企業価値向上策**

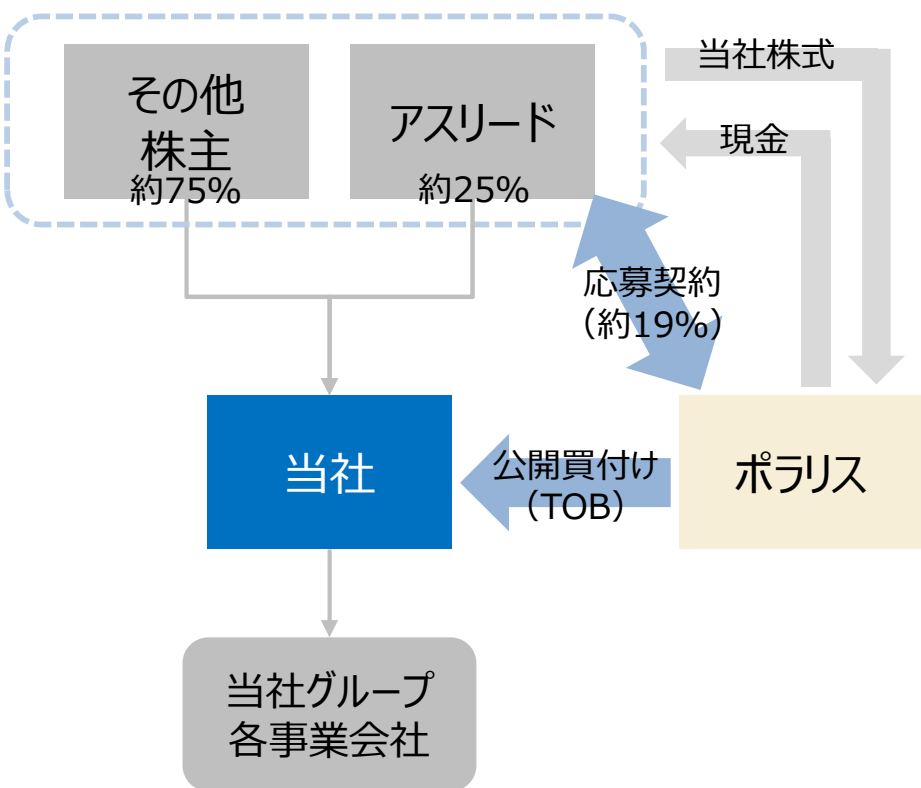
- 1 **DX化の推進**
- 2 **受注案件の拡大/グローバル展開**
- 3 **グループ運営の効率化及びグループ間シナジーの発揮**
- 4 **経営管理体制の強化/ESG・SDGsへの取り組み強化**

# 当社グループに対する今後の経営方針について

<b>経営戦略</b>	当社グループの現行経営戦略をベースとして、 今後、当社とポリス・キャピタル・グループとの間で具体的な協議を進めていく予定
<b>経営体制</b>	一定数の役員がポリス・キャピタル・グループより派遣される予定であるが、基本的に現経営体制を維持しつつ、詳細はTOB完了後にポリス・キャピタル・グループと協議しながら決定していく予定
<b>従業員の雇用</b>	従業員の雇用及び処遇の見直しは予定していない

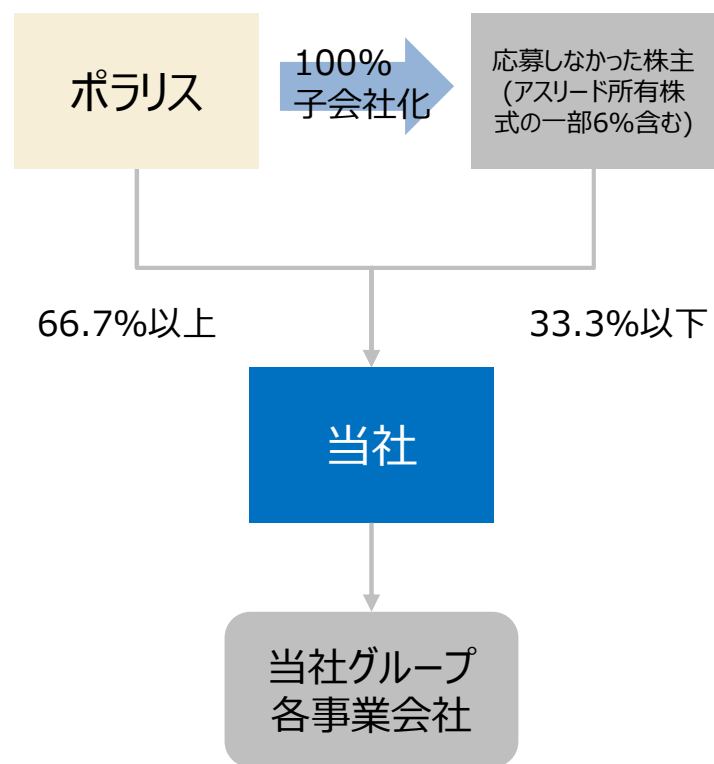
# 本件の手法

## STEP1: 公開買付け (TOB) の実施



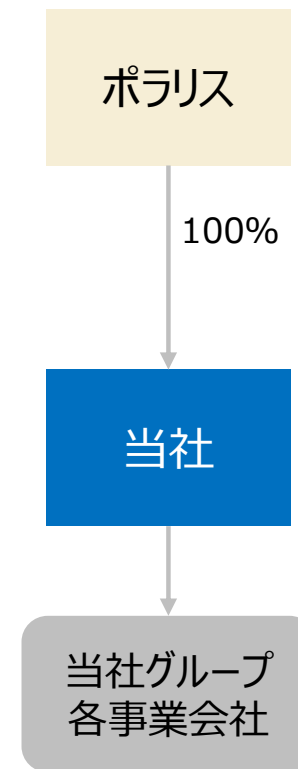
- 66.7%以上の株式が公開買付けに応募された場合、公開買付けが成立。  
応募された株式が66.7%に満たない場合には、ポラリスは当社株式を取得しません

## STEP2: 100%子会社化の実施



- 応募された株式が90%以上の場合、株式等売渡請求 (大株主が残りの株主に株式の取得を請求し、現金を交付すること) によりポラリスが当社株式の全てを取得します
- 応募された株式が90%に満たない場合、株式併合 (残りの株主が所有する株式を1株未満にし、現金を交付すること) によりポラリスが当社株式の全てを取得します

## STEP3: 本件後



# 公開買付けの概要

<b>買付者</b>	PTCJ-2ホールディングス株式会社 (ポラリス・キャピタル・グループ株式会社の完全子会社)
<b>対象者</b>	株式会社スペースバリューホールディングス
<b>買付けの対象・ 買付価格</b>	普通株式 1株につき1,150円 (公表日前日までの過去1か月の平均株価に対して36.90%のプレミアム)
<b>買付期間</b>	2021年11月15日 から 2021年12月27日 まで (30営業日)
<b>買付予定数</b>	普通株式 33,599,198株 上限：なし 下限：23,731,300株* (議決権の3分の2)
<b>応募手続き</b>	大和証券の本支店での応募手続き必須

\*買付予定数の下限は潜在株式勘案後株式総数に係る議決権数である355,971個に3分の2を乗じた数237,314個から公開買付者所有対象者株式に係る議決権数1個を控除した議決権数237,313個に100株を乗じた数です。